

シビックテックによる地域課題解決 (石川県金沢市)

人口 457,312 人 (R6.1.1現在)

担当 市民協働推進課

取組概要

シビックテック推進により市民自らが地域課題を解決できる社会実現を目指す

- ①「シビックテックスクール」: ICTを活用して自ら課題解決できる人材を育成
- ②「市民のためのデータ活用講座」: オープンデータの活用方法を解説
- ③「シビックテックミーティング」: シビックテックに取り組む人と地域課題を持つ人が顔を合わせて交流
- ④プラットフォーム「マッチ箱」: 地域課題を持つ人と解決できる人をウェブ上でマッチング

※「シビックテック」・・・Civic(市民)とTech(テクノロジー)を掛け合わせた造語で、市民がテクノロジーを活用して、地域が抱える課題を解決しようとする取り組みや考え方。

取組の効果

- ・シビックテックスクールやデータ活用講座で習得してもらったICT活用に関するノウハウが地域課題解決のために利用されている
- ・「マッチ箱」では、シビックテックプレイヤーを含む**134名のメンバー**が参加、**26の課題**が投稿され、解決に向けた議論・協働が行われている(R6.5.27時点)

創意・工夫した点

全国で先駆けて設立したシビックテック団体「Code for Kanazawa」や、市内のIT企業とも協力し、地域課題の解決を進める。

他団体へのアドバイス

地元企業や地域団体の中には地域への貢献の機会を探している人が必ずいる。そうした方と地域課題を持つ方をつなぐ場を提供することが、行政によるシビックテック推進の第一歩ではないか。



「KANAZAWA CIVICTECH」ポータルサイト



シビックの魅力を紹介するパンフレット